

VistaエクスプローラのCPU使用率が100%

Vistaエクスプローラ(フォルダーを開くexplorer.exe)が動かなくなるという現象に悩まされ続けて一年たつ。昨年末だったか、SuperFetchおよびReadyBoostという「Vista先進機能」が原因だったことが分かった。しかし、それだけが原因ではないようだ。Vistaリカバリ後も、エクスプローラがハングアップしてしまう現象に悩まされている。あるとき、パソコンが異常に暑く触れにくいらいになっているのに気づいた。休止状態にして寝て、あくる朝のことだった。アプリはなにも動いていないし、HDDも動いている気配がない。強制シャットダウンするしかなかった。

その後も何回も発生して調べると、explorer.exeのCPU使用率が100%になっていることが分かった。それが原因でフォルダーを開けず、タスクバーも無効になって作業ができなくなっていた。強制的にシャットダウンするしかない。そういうことが毎日のように発生する。これまで何度も調べたが、なぜCPUが100%になるのかが分からない。

強制シャットダウンすると、「explorer.exeがログオフの音を再生しているため待っています」というメッセージが出ることもある。昨年夏ころに、音が出なくなったことがあり、結局その原因が不明のまま再インストールした経緯がある。そのことと何か関係があるのだろうか？

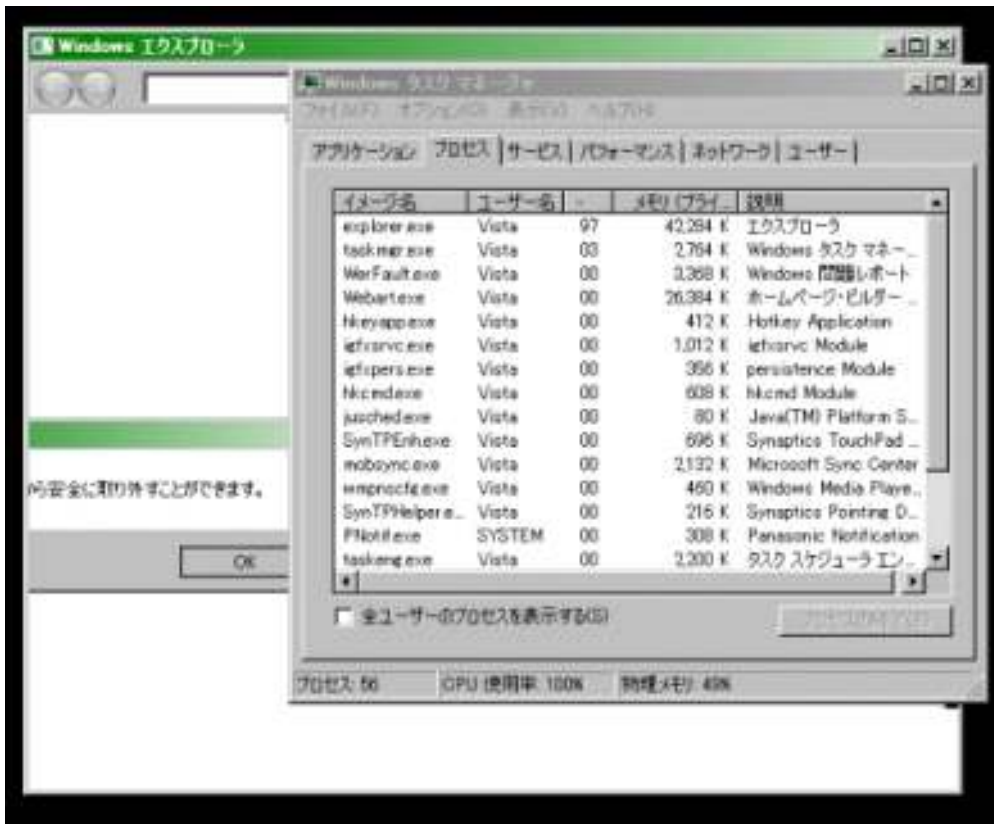
今朝は三時間くらいかけて徹底的に調べた。といっても所詮素人だから思いつくままの手を打っただけである。まず、どういう現象でなにをしたかを説明していく。

1. CPU使用率100%になったとき、先ずすべてのアプリケーションを終了させた。ウイルスチェック、スパイウェアチェックをした。ウイルスチェックはKingsoft、スパイウェアチェックはVistaのDefenderとSpybot search&destroyだ。念のためNortonでもチェック。問題なしだった。いつもそうなのだが、問題発生初期の頃は下図のようにフォルダが開くが中身が透けたままになる。ディスプレイ画面の背景は黒になっている。



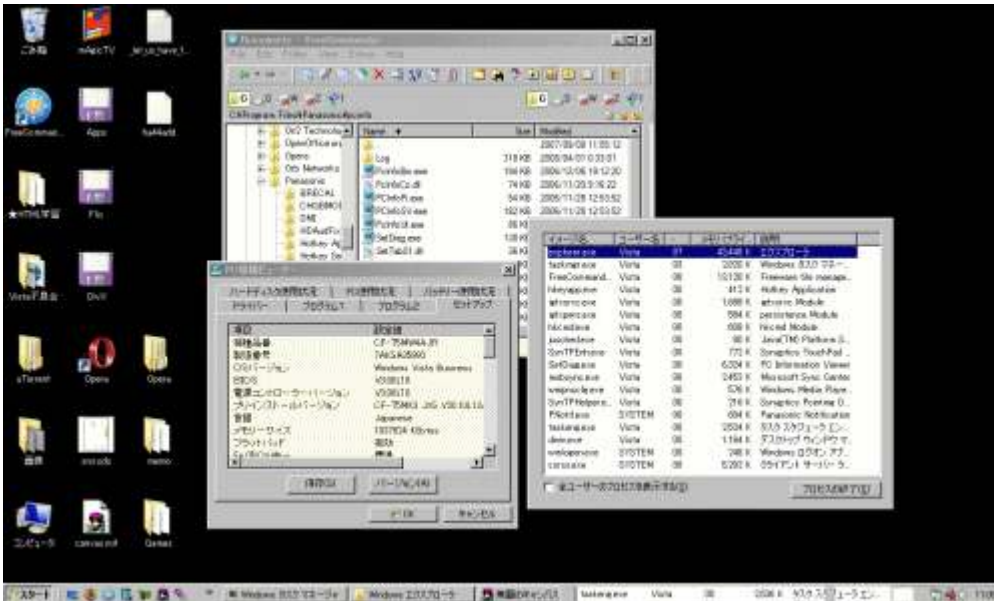
2. 外部接続のHDDやDVDドライブなどをすべて切断した。スタートアップ時に陰で動いているプロセスも停止した。今回は、無駄だと分かっているのでやらなかったが、プロセスを最小限の10数

個くらいにしても状況は変化しなかった。タスクマネージャが正常なら、CPU使用率ゼロのプロセスを切っても状況が変わらないのは当然だろう。30分～1時間経った頃、エクスプローラの中身が白くなったが、ウィンドウをマウスで動かすと残像が残るような結果になる。この時点ではマウスを使ってウィンドウを移動させたり、終了させたりできた。CPU使用率は依然として100%だ。



3. 一時間～2時間後くらいだろうか、タスバーやスタートが動かなくなった。これまではクリックできたのでクイックバーにあるWebArtという画像ソフトを起動しスクリーンショット(Prt Sc)を切り取ってPNGファイルに保存できた。クイックバーをクリックできなくなり、フォルダーも開けないので、スタートからプログラムを検索しようとする、下図のような状態になり検索できなかった。ファイアウォールやウィルス対策ソフトなどもすべて終了している。

すためにファイルマネージャが動いているだけである。下図のスクリーンショットを取ってWebArtで画像を保存し、PC情報ビューアですべてのパソコン情報データも保存した後、すべてのプログラムを終了させた。ところが、タスクバーにはプログラムが起動しているときの表示が残ったままになっている。デスクトップ上のアイコン、左右のクリック、タスクバーの選択、ALT+Tabなどすべてできなくなった。



6. Ctrl+Alt+Delを二回押して強制終了した。そうすると、「explorer.exe がログオフの音を再生しているため終了できません」というメッセージがでた。所定の時間がたってから強制終了した。ここで思い出したのが、昨年音がなくなった障害である。なにか関係があるのだろうか。ドライバは最新の状態にしたはずだ。

もう午後2時半になった。6時間以上、この問題に時間を割かれたということだ。解決できていたらその甲斐もあったのだが……。